タレブ『まぐれ』の要約

寺尾　敦

# 第III部　耳には蝋を

われわれの行動は迷信に支配されている．続けて起きた２つの事象を見ると，われわれはそれら事象の間に因果関係があると思ってしまう．しかし，実際には因果関係はなく，偶然であることが多い．心理学者スキナーの実験によれば，ハトのように人間より下等な動物にも，迷信行動が認められる．このことから，迷信を信じる傾向は生物学的なものであることがわかる．生物学的な傾向に抵抗することは難しく，頭ではこれは合理的でないとわかっていても，心や情動や感情は喜んでそうした傾向に従ってしまう．トレーディングをするときには，非合理的な判断をしないよう，本気で取り組む必要がある．

われわれは一度決めた自分の考えを簡単には変更できない．一連のアイデアのうち，最初の一つが他を圧倒する．これは経路依存性と呼ばれ，進化的に仕込まれている．自分が今考えているものとは異なった結果や原因や目的がありうると考えることは，懐疑主義的で確率的な考えである．確率は主観的で変わりやすい信念を測るものにすぎない．本物の投機家は懐疑主義的で，過去の信念や行動からまったく自由である．

われわれは，運命のどのような仕打ちにも屈することなく，尊厳を持たなければならない．これは理性主義の立場であり，確率と対等の立場に立とうとする人間の試みである．われわれがどれだけ合理的な選択をしても，結果を決めるのは偶然である．不幸な結果に傷つくことは間違っていないし，恥じることでもない．間違っているのは，尊厳のある道を選ばないことである．